

# 常任委員会

# 報告

よりよきまちづくりのため、各委員会では、閉会中も先進地の視察研修をしています。

## 建設経済常任委員会

視察日：平成20年5月12日(月)～13日(火)  
視察先：長野県千曲市(福祉環境常任委員会と合同)  
目的：環境基本計画策定の経緯と環境保全活動

千曲市は、「千曲の魅力と多彩な力が拓く躍動の都市」を目指し、市民と一体となって制定したものが「千曲市環境基本計画」です。

基本方針の中でも「自然豊かなふるさと」においては、①泳ぎたいと思うような千曲川にする。②生き物が豊富な小川や親しみやすい水辺を復活させる。③里山を守り活かしていく。④市街地の緑を育てる。⑤環境に配慮した公共事業と事務事業を増加させる。などのプロジェクトを立ち上げ、「望ましい将来像」を構築すべく、さまざまな事業に取り組んでいます。

桜川市も豊かな自然に恵まれており、これらを後

## 豊かな自然を後世に… 環境基本計画の策定を

世に引き継ぐため、桜川市環境基本計画を早期に制定し「地球にやさしい桜川」の遂行を願うものです。

また、日本の棚田百選の「<sup>おぼすて</sup>姨捨」(別名：<sup>たご</sup>田毎の月)と呼ばれる棚田では、近年荒廃が進んでいましたが、「棚田貸します制度」が創設され、都市と農村の交流を深め、中山間地域に広く分布する棚田を市民と協働することで、保全活動を推進しています。

本市でも農地の遊休地化や荒廃化が懸念され、保全には農業整備基盤事業や、もろもろの施策を講じ、農地の大切さを再認識することが必要と思われます。

## 総務常任委員会

視察日：平成20年5月21日(水)～22日(木)  
視察先：長野県飯田市、下條村  
目的：市民協働による総合計画策定と行政評価

飯田市は平成8年の第4次総合計画から、市民と行政が一体となって計画を策定しており、平成18年の第5次総合計画策定時には、行政評価の手法を取り入れたものを策定し、地域の自立に向けた市政の新しい枠組みとしてスタートさせています。

基本構想の特徴は、市民・地域・企業団体及び行政が役割分担し、協働しながら総体的にまちづくりを進め、①施策の目的達成のために事業を計画する。②その事業を適切に遂行する。③遂行した結果、施策の目的達成に寄与したか、実施方法は適切か等を評価する。④評価した結果を改革・改善に活かし、翌年度の計画に反映する。という一連の過程

## 市民と協働による まちづくりを実施

を繰り返すことで目標達成に取り組んでいます。桜川市でも審議会・ワーキングチームへの市民参画やパブリックコメントなど、市民と協働の計画づくりを実施していますが、施策の目的を策定することや進行管理について策定段階から市民の目があることなど、総合計画策定の参考になると思われました。

また、下條村の視察では、村の状況や「道の駅」の視察を行いました。



## 文教常任委員会

## 重要伝統的建造物群保存 地区の選定を目指して

視察日：平成20年5月21日(水)～22日(木)  
視察先：群馬県六合村、長野県東御市  
目的：重要伝統的建造物群保存地区の選定



六合村は群馬県北西部に位置する人口約1,800人の山村で、南部の赤岩地区は傾斜地の道沿いに昭和30

年代の養蚕農家建物が展開し、保存運動を平成14年より開始、平成18年には国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)に選定されました。

短期間に高い評価と脚光を浴び、地区は活性化さ

れ、人々からは一様に明るい印象を受けました。

長野県東御市海野宿は、江戸時代の旅籠と明治時代の養蚕家屋が並ぶ、うだつ・海野格子・出桁づくりなどの建築装飾を備えた町並みが特徴で、保存への取り組みは昭和48年に始まり、昭和62年に国の重伝建地区に選定されました。

町並み保存の原動力は、地元住民の主体的な活動であり、町並み保存の価値と意味を確認しながら歴史的景観を維持しています。

本市においても、これらの先行事例に多くを学び速やかに保存措置が講じられるよう、伝建地区指定に向けた政策が実施されることを要望します。

## 安全で快適な暮らしの 実現に向けて

千曲市では、豊かな環境を保全し、将来の世代を含めた市民が安全で快適に暮らすことができるよう、望ましい将来像の実現に向けた行動を、総合的かつ計画的に推進することを目的として、環境基本計画の策定に着手しました。



計画策定に当たり、市民・事業者・市・学校が、それぞれ自主的に行動することが大切であるということから、

## 福祉環境常任委員会

視察日：平成20年5月12日(月)～13日(火)  
視察先：長野県千曲市(建設経済常任委員会と合同)  
目的：環境基本計画策定の経緯と環境保全活動

検討委員会を設立し、計画づくりで終わらないよう、内容を検討しながら市民活動を実現していく方針で行っており、現地視察会や観察会、各調査等は検討していく中で実現していったとのことでした。

基本方針として「市民みんなが主役のまち」「自然豊かなふるさと」「もったいないを大切にすくらし」「地球を大切にすくらし、安全で安心なまち」「豊かさははぐくむ環境学習」の5つのテーマを設け、現在、環境基本計画を実行していくため「千曲市環境市民会議」を設立し、各種の計画を推進するため市民・事業者・市・学校において長期目標によるプロジェクトを実施しているそうです。